

「受験の心得」 しっかり読んで、しっかり準備！

前日は、早く準備して、はやく寝る。ゆとりを持って過ごすこと。

1. 持って行く物の確認

(高校によってちがう場合があるので、受験票や高校が出したプリントに従う)

受験票 受験者向け注意（高校が出したプリント）

筆記用具 鉛筆2～4本、または、シャープペンシル2本

（芯ケースは受験中出せないので注意！）

鉛筆削り、消しゴム（2個）、定規、下じき、

時計（もちろん、計算機能付きはダメ）、

上履き・下履きを入れる袋

弁当、水筒、

交通費（小銭がある方がよい）

生徒手帳（受検番号〔受付番号〕、西院中の電話番号【075-312-0365】、緊急連絡先などを記入しておく）

防寒着（高校によって暖房がしていないところもある）

ハンカチ、ティッシュペーパー、

参考書、まとめノートなど（使い慣れたもの）

※計算機能・翻訳機能のある時計、文房具類は禁止。

※携帯電話の扱いについては、各高校のプリントで確認し、指示に従って下さい。

2. 服装の確認

もう一度、総点検しよう。

きれいなシャツで。スカートの長さはOKですか。校章・バッヂ・靴下は大丈夫ですか。自分勝手な判断で行かないこと。

3. インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症等の対応

新型コロナウイルス陽性者は欠席して下さい。（中学校に連絡して下さい。追試の手続きを行います。）

濃厚接触者に認定された場合は中学校に連絡して下さい。（対応の内容は、各校異なる点もあります。各校のHPでも確認して下さい。）

受験日当日は、朝自宅で必ず検温してください。（37.5度の熱がないことを確認。37.5度以上の熱、インフルエンザ等の場合も中学校に連絡して下さい。その後の対応を連絡します。）

4. 前日・当日は

前日の夜

勉強——要点だけを、簡単に。

入浴——湯冷めしないように。

食事——消化のよいものを。

就寝——早めに寝るように。

当日の朝 気合いを入れて、気持ちを引き締めて

起床——早めに起きる（余裕をもって過ごす）

朝食——軽い程度でも必ず食べよう。

排便——必ずすましておく。

持って行く物の確認

検温する。（37.5度以上ある場合は、必ず中学校に連絡すること。）

※マスク・防寒で試験会場にむかいましょう。

※コロナ、インフルエンザ等で受験できない場合は、中学校に必ず連絡して下さい。連絡なき場合は、追試は出来ません。(朝、7時30分～8時までに連絡して下さい。その後の指示をします。)

受験校に着いたら

- 時間厳守、早く集合場所へ行く。
- 掲示物、注意書きなどをしっかり読む。
- 係りの先生の指示に従う。
- トイレの場所の確認しておく(2ヵ所以上)。

※遅刻しそう・・・あわてず、冷静に判断する。

まずは、中学校に電話連絡を入れる。

そして、あきらめることなく受験先へ向かう。

決して、あきらめて帰ってしまわないように。

※受験票を忘れた・・・あわてず、冷静に判断する。

受験先で、受付または係りの先生の指示を受ける。

試験開始 正々堂々頑張る。最後まで諦めない。

- まずは、受験番号〔受付番号〕を落ち着いて記入する。
- 名前をはじめに記入する。
- ひととおり問題に目を通し、時間配分をざっと考えてから始める。
- 不正行為(カンニング)に見間違われるような行動はしない。
(すぐに隣をのぞき込んだり、ポケットに手を入れてごそごそしたり、不自然な格好で座ったりする癖のある人は要注意)
- 時間が余ったからといって、寝たりしない。最後まで、しっかり見直しをする。
(試験官の先生は、その姿をしっかりと目に焼き付けてしまう)
- 解答欄はできるだけ全部記入する。ただし、いい加減な解答をしない。
- 途中で失敗したと思っても、途中で投げ出さない。
(最後の最後までがんばれば、何とかなることだってある)

※気分が悪くなった。トイレを我慢できない。

しんぼうしないで、黙って手を挙げて、試験官の先生に申し出る。

休憩時間

- トイレに行く。
- 筆記用具の点検をする。
- 休み時間は、
リフレッシュの時間だ。気持ちを切り替えよう。
(でも、遊んだり、大声で騒いだりしない。)
終わった問題については話題にしない。

試験終了後 今日の結果を家庭に報告しよう。

- 寄り道をせずに、まっすぐ家に帰る。
- 家に帰ったら、ゆっくりと入浴し、しっかりと寝て疲れをとる。
(自分では気がつかなくても、1日中緊張して精神的に疲れています。)

その他

- 受験票は、合格発表のときや入学者説明会のときなどに必要になります。
なくさないように大切に保管しておきましょう。
- 受験の行き帰りの電車、バスでのマナーは、しっかり守りましょう。